

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	自主防災会	
事業名	1	地域防災力向上事業

項目	計画	実績
事業内容	・ 防災訓練の実施 ・ 防災研修会の実施 ・ 防災資機材の点検整備 ・ 緊急連絡体制の確立 ・ 防災士の増員、レベルアップ	・ 防災訓練の実施 ・ 防災研修会の実施 ・ 防災資機材の点検整備 ・ スマホを活用した緊急連絡体制の確立 ・ 防災士の増員、ブラッシュアップ研修会 ・ 普通救命講習の実施 ・ その他要支援者リストの改訂版作成
事業対象者	原地区民	
参加者数（人）	1,000	1,400
事業効果	研修や訓練などを通じて、地域住民の防災意識の向上および防災力のレベルアップを図る。	・ 研修会を通じて、防災リーダーとしての防災士のレベルアップが図られた ・ 各自治会にて実施した防災ヒヤリマップ作成を通じて、地域住民の防災意識向上が図られた
事業期間	令和7年4月～令和8年3月	令和7年4月～令和8年3月
予算額/決算額（円）	295,000	165,683
助成金充当額（円）	50,000	50,000
主な事業指標	指標名	防災訓練、研修会など参加者（人）
	目標値/実績値	1,000 1,400
	達成・未達成の要因	各自治会にて実施した防災ヒヤリマップ作成を通じて、防災意識が向上した。また、防災士の防災研修を通じて、レベルアップが図られた。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	2
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	3
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	体育振興会	
事業名	2	健康づくり事業

項目	計画	実績
事業内容	・ カローリング大会 ・ ペタンク大会	・ カローリング大会 ・ ペタンク大会
事業対象者	全地区民	
参加者数（人）	70	72
事業効果	・ スポーツの振興 ・ 健康促進 ・ 地区民の親睦	スポーツ大会の実施により、地域住民間の親睦・健康づくりに貢献することができた。
事業期間	令和7年4月～令和8年3月	令和7年4月～令和8年3月
予算額/決算額（円）	100,000	78,153
助成金充当額（円）	78,000	78,000
主 な 事 業 指 標	指標名	大会参加人数（人）
	目標値/実績値	70 72
	達成・未達成の要因	幅広い年齢層が楽しめる競技に変更して参加人数が増え、目標値を達成することができた。ただ、参加者の約8割が60歳以上で、若者の参加率が依然として低い。どのようにして若者を取り込むかが今後の課題となる。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	3
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	2
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	原小学校学校運営協議会	
事業名	3	コミュニティスクール推進事業

項目	計画	実績
事業内容	学校・家庭・地域の連携・協働による教育活動 ・学校運営 ・学校支援 ・地域貢献 ・コミスクルームの整備	地域学校協働活動（地域貢献活動）の推進 ・児童生徒参画型や小中合同の学校運営協議会（6年生全、5年生代表児童参加） ・原地区コミュニティ大運動会（全校有志児童参加） ・三世代ふれあいゴルフ大会（全校有志児童参加） ・原地区ふれあい祭りに出演（3年生有志児童参加） ・原地区人権推進大会（6年生代表児童参加） ・原地区どんど焼き（6年生代表児童・全校有志児童参加） ・地域の方への感謝の会「ハートフルタイム」（全校児童） ・「みんなの原っぱ」（毎月1回…原ふれあいセンターでの学習会や体験活動）
事業対象者	原小学校 児童・保護者、原地区 地域住民	
参加者数（人）	600	900
事業効果	児童を中心に据えることで、保護者の参加意識も高まり、地域の方との結び付きも深くなる。さらに、児童の「自分たちが学校や地域をつくっていくんだ」という意識や「自己肯定感・自己有用感」「地域愛」も高まっていく。 また、コミスクルームを設置・整備することで、学校運営協議会委員や地域の方が気軽に集い、児童との関わりも持てる場としていきたい。	年間7回、学校運営協議会を開催することができた。6年生や5年生の児童が参画する熟議や、地域との関りのある様々な教育活動・行事を通して、児童や保護者、地域の方、教職員の思いや願いを共有できたことが地域貢献や地域づくりの意欲向上に大きくつながったといえる。助成金で購入させていただいた消耗品は、原小まつり等で児童や保護者、地域の方々の交流に活用することができた。 また、コミュニティルームを整備し、学習支援ボランティアで来校された地域の方々に利用してもらっている。
事業期間	令和7年4月～令和8年3月	令和7年4月～令和8年3月
予算額/決算額（円）	65,000	65,000
助成金充当額（円）	65,000	65,000
主な事業指標	指標名	学校評価アンケート「地域の人に感謝の気持ちをもっている」
	目標値/実績値	肯定意見（「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」）80%以上 肯定意見（「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」）90%以上
	達成・未達成の要因	学校運営協議会の運営において評価・改善サイクルの充実を図ると共に、学校支援に関する呼びかけを積極的に行い、多くの人に参加いただくことで、教育活動における地域連携の充実を推進することができたと考えられる。

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	原小学校学校運営協議会	
事業名	3	コミュニティスクール推進事業

項目	計画	実績
実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	3
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	3
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	黒石中学校学校運営協議会	
事業名	4	コミュニティスクール推進事業

項目	計画	実績
事業内容	・学校支援ボランティアの確保 ・地域貢献活動（地域行事への参加、地域連携を視野に入れた学習活動） ・図書館教育の充実（物品購入、環境整備） ・幼保小中一貫教育の推進 等	・学校支援ボランティア 部活動支援、環境整備、授業支援 ・幼保小中一貫教育の推進 等 保育実習、小中合同学校運営協議会 ・地域貢献活動 地域行事への参加、中川清掃等
事業対象者	黒石中学校生徒、保護者、校区住民	
参加者数（人）	1,000	延1,050
事業効果	地域行事への参加や地域との連携を図る学習活動を積極的に推進することで、生徒の地域に貢献する意識が高まる。	多くの地域ボランティアの方にご協力いただき、授業支援、環境整備、面接指導などの支援をしていただいた。また、中学生も地域行事に企画から参加するなど、昨年よりも生徒たちの地域行事への参画意欲が高まった。
事業期間	令和7年4月～令和8年3月	令和7年4月～令和8年3月
予算額/決算額（円）	35,000	75,000
助成金充当額（円）	10,000	10,000
主な事業指標	指標名	地域貢献活動参加者数、学校支援ボランティア参加者数（人）
	目標値/実績値	地域貢献活動参加者数：800人 学校支援ボランティア参加者数：200人 地域貢献活動参加者数：650人 学校支援ボランティア参加者数：400人
	達成・未達成の要因	地域行事への参加の依頼が増えてきていること、学校支援に来られる方々のネットワークが広がってきたことが参加者の増加に繋がってきたと思われる。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	3
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	3
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	社会福祉協議会	
事業名	5	自治会福祉事業

項目	計画	実績
事業内容	・ 敬老事業支援 ・ ふれあい・いきいきサロン活動支援 ・ 高齢者ふれあい訪問活動推進 ・ 多世代ふれあい昼食会 ・ 諸団体の福祉活動支援 ・ 「福祉だより」発行	・ 敬老事業支援 ・ ふれあい・いきいきサロン活動支援 ・ 高齢者ふれあい訪問活動推進 ・ 多世代ふれあい昼食会 ・ 諸団体の福祉活動支援 ・ 「福祉だより」発行
事業対象者	原地区民	
参加者数（人）	2,000	
事業効果	「誰もが住みよいまちづくり」を目指した地域福祉活動の推進。	顔の見える事業をイメージし、かつ誰もが参加でき、楽しめる事業運営に努めた結果、福祉活動の促進に貢献できた。
事業期間	令和7年4月～令和8年3月	令和7年4月～令和8年3月
予算額/決算額（円）	1,850,000	1,142,350
助成金充当額（円）	839,200	839,200
主な事業指標	指標名	敬老事業参加人数（人）
	目標値/実績値	300 252
	達成・未達成の要因	敬老事業内容を本来の対象者間に交流がある事業へ戻したことでコミュニティの活性化、自治会員間のつながりづくりに貢献できた。なお、数値目標では、対象者の身体的変化（病気等）により減少したと考えている。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	3
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	3
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	子ども委員会	
事業名	6	原っ子健全育成事業

項目	計画	実績
事業内容	・子ども太鼓 ・炭焼きパン ・親子ふれあい体験活動 ・地域探検など	・子ども太鼓 ・炭焼きパン ・もちつき（稲作体験） ・キャンプ、デイキャンプ ・通学合宿 ・放課後教室、地区探検
事業対象者	小学生	
参加者数（人）	1,000	702
事業効果	「さまざまな体験活動」を通して子ども達の自主性や協調性などを育む。	「さまざまな体験活動」を通して子ども達の自主性や協調性などを育む。親への感謝の気持ちを知る。食への関心、興味をもつ。地域の歴史にふれる。公共交通機関の乗り方・マナーを知る。
事業期間	令和7年4月～令和8年3月	令和7年4月～令和8年3月
予算額/決算額（円）	85,000	85,000
助成金充当額（円）	85,000	85,000
主な事業指標	指標名	各事業参加人数の合計（人）
	目標値/実績値	1,000 702
	達成・未達成の要因	多くの児童が登録・参加してくれた。天候不順で中止になった行事もあったが、どの行事にも積極的に取り組んでいた。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	3
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	3
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	原コミュニティジュニアクラブ育成協議会	
事業名	7	原っ子健全育成事業

項目	計画	実績
事業内容	・「みんなの原っぱ」開催 ・畑体験 ・音楽体験	・「みんなの原っぱ」開催（毎月） ・畑体験
事業対象者	原地区住民	
参加者数（人）	1,000	581
事業効果	子ども達が工作や音楽などを通じて地域の人たちとかかわることで地域愛を深める。	「みんなの原っぱ」では包括支援センターの方にも参加していただき、工作・ゲーム・夏まつりなど、子ども達が世代を超えた交流ができた。畑体験では、子ども達が芋の苗を植え収穫し、現地で焼き芋として食べることで、食への関心が高まった。
事業期間	令和7年4月～令和8年3月	令和7年4月～令和8年3月
予算額/決算額（円）	50,000	50,000
助成金充当額（円）	50,000	50,000
主な事業指標	指標名	各行事参加人数の合計
	目標値/実績値	1,000 / 581
	達成・未達成の要因	「みんなの原っぱ」では昨年度より参加人数が70名増えており、来年度はもっと参加人数が増えるよう、地域外にも目を向け、楽しい企画を検討する。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	3
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	2
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	ふれあい運動推進委員会	
事業名	8	原っ子健全育成事業

項目	計画	実績
事業内容	・見守り声かけ、あいさつ運動 ・街頭補導、通学路安全確保 ・子ども110番の家サポート活動 ・標語、ポスター等啓発活動	・見守り声かけ、あいさつ運動 ・街頭補導、通学路安全確保 ・情報交換会 ・子ども110番の家サポート活動 ・標語、ポスター等啓発活動 ・市ふれあい運動推進大会
事業対象者	地区住民、原小児童、黒石中生徒	
参加者数（人）	20	10
事業効果	青少年の非行防止、健全育成。	子どもの健全育成の一助、地域住民への周知。 情報交換会は小・中学校にも参加してもらい、補導対応の他、交通マナー・交友トラブル・SNS対策を重点的に協議した。
事業期間	令和7年4月～令和8年3月	令和7年4月～令和8年3月
予算額/決算額（円）	58,000	49,092
助成金充当額（円）	38,000	38,000
主な事業指標	指標名	ふれあい運動推進委員会開催（回）
	目標値/実績値	10
	達成・未達成の要因	現状に対応した活動（特にネットでの影響）、新規委員の確保が今後の課題。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	2
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	2
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	まちづくりサークル	
事業名	9	原っ子健全育成事業

項目		計画	実績
事業内容	事業内容	・ 駅的环境整備 ・ 健康ハイキング ・ 料理教室	・ 駅的环境整備 ・ 健康ハイキング ・ 料理教室
	事業対象者	原地区民	
	参加者数（人）	100	85
	事業効果	地区内の駅周辺美化。運動・食事による健康増進・維持。	地区内の駅周辺美化。運動・食事による健康増進・維持と参加者同士の親睦。
	事業期間	令和7年4月～令和8年3月	令和7年4月～令和8年3月
	予算額/決算額（円）	95,000	74,086
	助成金充当額（円）	61,400	61,400
主な事業指標	指標名	事業参加者（人）	
	目標値/実績値	100	84
	達成・未達成の要因	ふれあいセンター調理実習室に空調設備が設置され夏場でも実施できるようになった。	

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	2
	助成金を有効に活用できましたか	2
	多くの住民の参加が得られましたか	2
	今後も事業継続できますか	2

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	原根っこの会	
事業名	10	原っ子健全育成事業

項目	計画	実績
事業内容	・ふれあい健康ハイキング ・輪飾り、ミニ門松づくり教室 ・門松づくり	・ふれあい健康ハイキング ・輪飾り、ミニ門松づくり教室 ・門松づくり
事業対象者	原地区民、原小児童、黒石中生徒	
参加者数（人）	80	60
事業効果	・多世代の地区住民の親睦を図り、地域の連帯感を強める。 ・日本の伝統工芸に挑戦して体験活動を行う。	・多世代の地区住民の親睦を図り、地域の連帯感が強まった。 ・日本の伝統工芸にふれられた。
事業期間	令和7年4月～令和8年3月	令和7年4月～令和8年3月
予算額/決算額（円）	85,000	81,977
助成金充当額（円）	75,000	75,000
主な事業指標	指標名	行事参加者（人）
	目標値/実績値	80 60
	達成・未達成の要因	子どもから大人まで毎年の行事として交流や体験を楽しみにしている。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	3
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	原蓮鼓太鼓	
事業名	11	原っ子健全育成事業

項目	計画	実績
事業内容	・ 原蓮鼓太鼓活動	・ 地区行事での演奏（夏まつり、原小まつり、ふれあいまつり、新年互礼会、どんど焼き） ・ 地区外演奏（中津瀬神社春・秋季例祭、黒石自治会夏祭り、老人クラブ演芸大会） ・ 毎月第2～第4土曜日練習（延べ26日）
事業対象者	原小児童、黒石中生徒、原地区民	
参加者数（人）	20	20
事業効果	活動を通して子ども達の自主性や協調性を育む。	活動を通して団員の心身成長や原蓮鼓太鼓の継承を推進。
事業期間	令和7年4月～令和8年3月	令和7年4月～令和8年3月
予算額/決算額（円）	120,000	139,892
助成金充当額（円）	120,000	120,000
主な事業指標	指標名	参加者人数
	目標値/実績値	延500人 延400人
	達成・未達成の要因	活動を通して子どもたちの成長が感じられた。上級生においてはリーダーシップが生まれてきたと思われる。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	3
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	2
	今後も事業継続できますか	2

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	人権教育推進委員協議会	
事業名	12	人権啓発事業

項目	計画	実績
事業内容	・ 原地区人権教育推進大会 ・ 厚南4地区人権教育合同研修会 ・ 子どもと大人の人権学習会 ・ 自治会人権学習会 ・ 人権作文、ポスター、標語、習字作品募集 ・ 小中学校人権教育授業参観、講演会出席	・ 原地区人権教育推進大会 (人権作文発表、ポスター・標語・習字作品展示) ・ 厚南4地区人権教育合同研修会 ・ 子どもと大人の人権学習会 ・ 自治会人権学習会 ・ 小中学校人権教育授業参観、講演会出席 ・ 推進委員研修参加
事業対象者	地区住民、学童保育	
参加者数（人）	450	431
事業効果	・ 人権意識の高揚。 ・ 人権が尊重され、安心して暮らしやすい地域社会の実現。	地域住民が研修会・学習会に参加することによって、人権について考え話し合う機会をもてたことで人権意識が高まった。
事業期間	令和7年4月～令和8年3月	令和7年4月～令和8年3月
予算額/決算額（円）	154,000	163,715
助成金充当額（円）	20,000	20,000
主な事業指標	指標名	原地区人権教育推進大会参加者(人)
	目標値/実績値	120
	達成・未達成の要因	堅苦しい人権教育ではなく、気軽に楽しく集えて、1つでも学びを収穫できるような大会を目指し講師を選択。委員の方の広い人脈を重視。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	2
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	2
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	交通安全対策協議会	
事業名	13	交通安全推進事業

項目	計画	実績
事業内容	・挨拶運動 ・安全な横断歩道の渡り方 ・歩道歩行者の安全確保 ・自転車の正しい乗り方	・登下校時の見守りと安全指導 ・歩行者の安全確保 ・地域各行事での交通見守り
事業対象者	原地区民（推進委員、交通指導員）	
参加者数（人）	500	450
事業効果	子ども達が安心・安全に登下校できるように観察指導できる環境づくり。	安心・安全に登下校が出来た。見守りとしっかり挨拶ができる環境づくりに効果があった。
事業期間	令和7年4月～令和8年3月	令和7年4月～令和8年3月
予算額/決算額（円）	100,900	110,544
助成金充当額（円）	30,000	30,000
主な事業指標	指標名	地域の安心安全見守り人員（人）
	目標値/実績値	500 450
	達成・未達成の要因	子ども達の安心安全を第一に、楽しく登下校できる環境づくりができた。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	3
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	3
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	環境衛生連合会	
事業名	14	環境美化事業

項目	計画	実績
事業内容	・ 地区行事でのごみ分別指導・啓発活動 ・ 河川の清掃作業（梅田川、中川） ・ 地区内美化パトロール、空き缶回収 ・ 環境視察研修 ・ ポイ捨て防止のぼり旗の作成	・ 緑のカーテン設置指導 ・ 支部内、支部外研修の開催 ・ 夏祭り、ふれあいまつり、どんど焼きでのごみ分別指導及び啓発 ・ 梅田川、中川清掃作業 ・ 地区内美化パトロール、全市一斉空き缶等回収作業 ・ ポイ捨て防止啓発のぼり旗の作成
事業対象者	原地区民	
参加者数（人）	500	500
事業効果	・ 環境美化活動を行うことで、生活環境をより良いものとする。 ・ 地区で美化活動を実施し、ゴミのポイ捨てや不法投棄の減少を目指す。	・ 環境美化活動を行うことで、生活環境をより良いものとした。 ・ 地区で美化活動を実施し、ゴミのポイ捨てや不法投棄の減少を目指した。 ・ 啓発活動を続けることで地域住民の中に環境維持の意識を醸成することができた。
事業期間	令和7年4月～令和8年3月	令和7年4月～令和8年3月
予算額/決算額（円）	597,000	612,199
助成金充当額（円）	90,000	90,000
主な事業指標	指標名	梅田川清掃参加者（人）
	目標値/実績値	120 / 131
	達成・未達成の要因	・ 自治会連合会との共催により参加人数が確保出来ていること。 ・ 地域住民の環境美化への意識が向上してきていること。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	3
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	3
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	郷土史研究会	
事業名	15	地域資源活用事業

項目	計画	実績
事業内容	・ 厚南・原地区の歴史研究 ・ 原小学校児童への地域歴史出前授業 ・ 原老人クラブ、高齢者学級での講話 ・ 原地区の史跡看板設置	原、厚南地区の歴史研究の例会は予定通り実施（毎月2回、20回／年実施） 9月：原小学校にて防災歴史授業実施 1月：黒石中学校、厚南中学校にて街づくり研修会として、厚南の河川史講演、住民参加の車座ミーティング実施 2月：自主防災会にて「地名と防災」講演
事業対象者	原地区民	
参加者数（人）	300	延430
事業効果	郷土の歴史を探求し、出前授業、講演会、史跡看板などを通じ、地区民に郷土の歴史知識を広め、文化レベルの向上図るとともに郷土愛を深める。	出前授業、歴史講演会等を実施し、地域の歴史を知り、防災意識と住みやすい街づくりへの意識が向上した。
事業期間	令和7年4月～令和8年3月	令和7年4月～令和8年3月
予算額/決算額（円）	240,000	25,821
助成金充当額（円）	20,000	20,000
主な事業指標	指標名	行事参加者数（人）
	目標値/実績値	300 延430人
	達成・未達成の要因	例会（研究会）、小学校での歴史授業、地域住民・中学生対象の歴史講演会・車座ミーティングを開催し、地域の歴史を知り、防災意識の向上により街づくりに貢献できた。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	3
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	2
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	コミュニティ推進協議会	
事業名	16	コミュニティ行事運営事業

項目	計画	実績
事業内容	・夏まつり ・原地区コミュニティ大運動会 ・原ふれあいまつり ・三世代ふれあいグラウンド・ゴルフ大会 ・どんど焼き、凧揚げ大会など	・夏まつり（参加者：600人） ・原地区コミュニティ大運動会（中止） ・原ふれあいまつり（参加者700人） ・三世代ふれあいGゴルフ大会（100） ・どんど焼き、凧揚げ大会（参加者400人）
事業対象者	原地区民	
参加者数（人）	2,000	延1800
事業効果	・多世代が参加できる行事や活動を通じて、若い世代にも地域の魅力を知ってもらい、ともに魅力ある地域づくりを目指す。 ・多世代間の交流を活発にし、地区コミュニティの活性化と地域の連携強化。	夏まつり、ふれあいまつり、どんど焼き等の地区行事は予想以上の参加者数となったが、運動会は雨のため中止となり、参加者総数は若干目標を下回った。
事業期間	令和7年4月～令和8年3月	令和7年4月～令和8年3月
予算額/決算額（円）	936,417	809,356
助成金充当額（円）	258,800	258,800
主な事業指標	指標名	夏まつり、運動会、ふれあい祭りなどの参加者（人）
	目標値/実績値	2,000 1,800
	達成・未達成の要因	大運動会は数日の雨でグラウンド状態が悪く、やむを得ず中止を決断したため、目標参加総数を下回った。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	3
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	2
	今後も事業継続できますか	3